

北千葉道路についてより詳しく皆さんに知っていただくため

パネル展示等によるオープンハウスを開催します

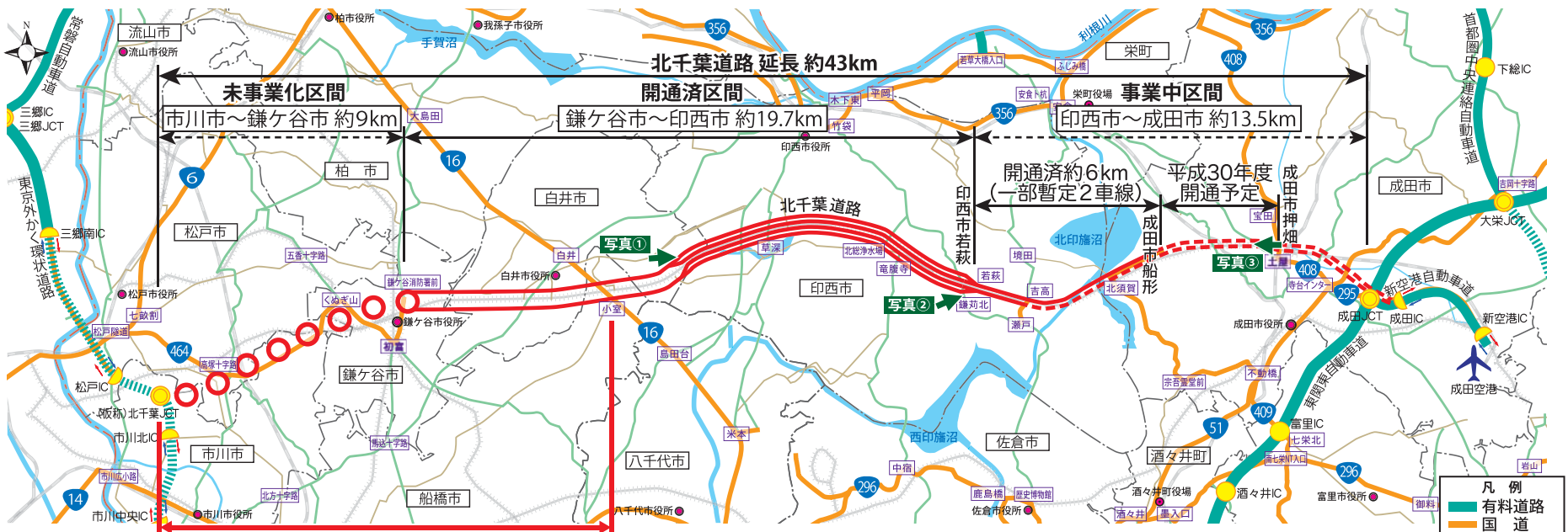


北千葉道路の整備状況・最新の検討状況は？



■北千葉道路の整備状況等

- ・一般国道464号北千葉道路は、市川市と成田市を結ぶ全長約43kmの道路です。
- ・現在、鎌ヶ谷市から印西市間の約19.7kmは、4または8車線で開通しています。（写真①）
- ・印西市から成田市間の約13.5kmは、国と県で協同して整備を進めています。これまでに印西市若萩から成田市船形までの約6kmが開通（一部暫定2車線）しており、平成30年度までに成田市船形から押畑までの約3.8kmの開通を目標に整備が進められています。（写真②、③）
- ・未事業化区間の市川市から鎌ヶ谷市間約9kmの早期事業化に向けて、国・県・沿線市で検討が進められており、これまでの検討では市川市から国道16号間は、一般部と専用部の併設構造とすること等を確認しています。



今後、千葉県が都市計画・環境アセスメント手続きに着手する区間（市川市～国道16号間）



白井市谷田付近 (H29.2)



印西市若萩付近 (H29.2)



成田市押畑付近 (H29.4)

～地元の皆様の声～

北千葉道路が整備されることで、市内の渋滞が緩和し、現場到達時間や搬送時間の短縮に期待しています。さらに、高速道路へのアクセスが遠い地域なので、北千葉道路ができることで都内への搬送時間の短縮も期待できます。

鎌ヶ谷市消防本部
ヒアリング結果
(H29.6)



■最新の検討状況は？

- ・平成29年6月9日に平成29年度第1回千葉県道路協議会※を開催し、今後、北千葉道路（市川市～国道16号間）の都市計画・環境アセスメントの手続きに国の協力を得ながら、千葉県が着手することを確認しました。

※千葉県道路協議会：国・県・千葉市・高速道路会社で構成され県内における道路施策等に関する検討及び幹線道路の計画・調整、道路行政に関する啓発活動を実施

都市計画手続きとは・・・

都市計画は、将来のまちづくりを考えて、都市の骨組みを形づくっている道路等の位置、規模、構造などを定めるものです。住民に密接な影響を及ぼす計画ですので、その手続きでは、住民の意見を聴きながら案を作成するとともに、出来上がった案に対して住民の皆さんが意見を提出する機会が設けられています。



環境アセスメント手続きとは・・・

環境に大きな影響を及ぼすおそれのある事業を実施する際に、その事業の実施に伴って生ずる環境への影響について、事前に調査・予測・評価するとともに環境保全措置の検討を行い、住民や行政機関などの意見を踏まえた上で、事業実施の際に環境の保全への適正な配慮を行う仕組みです。

